



# 港南小学校

## 学校だより

船木 亮作

いつもより短い夏季休業日が終了し、いよいよ二学期がスタートしました。裏をかえせばいつもより長くなった二学期ですが、臨時休業分の学習を日々取り戻せるように学習を進めていきたいと思っています。

夏季休業中は忙しい中、個人面談にお越しいただきありがとうございました。この機会を有効にするためにも話し合ったことを基に今後のお子様の指導へと繋げて参ります。また、オンライン授業の初期段階として、TEMSのテスト配信にも協力いただきありがとうございます。

七月から一斉登校が始まり、急に授業時間数が増加したため、疲労感をもった子供たちが少なからずいました。同時に習い事も始まった子供たちも多く、時間的な制約が一挙に増加したことにより、特に中学年から高学年を中心に朝から元気がない姿が見られました。二学期も七月同様の時程で進んでいきます。また、ほぼ隔週で土曜授業もあります。ですから、まずはそのペースをつかめるよう睡眠を十分に確保し、元気な状態で登校できるように協力ください。

さて、新型コロナウイルスの影響で子供たちにとって楽しみにしていた行事や校外学習が実施できず、残念に思っている様子が見かけられます。本校では、できるだけ子供たちによる体験や経験を積ませたいと考えています。一学期には四年生を中心に次のような学習を実施しました。総合的な学習の一つとして、車いす体験や白杖体験を行い、障害のある方々の苦労について学びました。また、わかば学級の子供たちも加わり、医療従事者に感謝の気持ちを伝えようというプロジェクトで、ブイ作りを実施しました。本来ですと直接届けたいところですが、現在の状況を鑑みて、プロジェクトの中心になってくださっている方々に託しました。二学期もできるだけ実施できる行事を中心に現在計画を練っています。例えば、運動会の代替えとして、六年生は、土曜日にスポーツフェスタを実施します。他の学年は平日を活用して実施する予定です。

前述したように、七月の後半になると子供たちのストレスが

## 9月号

二十四節気・七十二候

### <9月の二十四節気>

- ・9月8日 白露  
気界冷露白し
- ・9月23日 秋分  
秋の最中昼夜平分

### <9月の七十二候>

- ・草露白  
くさのつゆしろし  
→草に降りた露が白く光る
- ・鶉鳴  
せきれいなく  
→鶉が鳴き始める
- ・玄鳥去  
つばめさる  
→燕が南へ帰っていく
- ・雷乃収声  
かみなりすなわちこえをおさむ  
→雷が鳴り響かなくなる
- ・蟄虫坏戸  
むしかくれてとをふさぐ  
→虫が地中に掘った穴をふさぐ
- ・水始涸  
みずはじめてかる  
→田畑に水を干し始める

### 心身共に健全な生活

夏季休業が終わり、改めて生活習慣の確立が必要です。感染症防止のため、在宅時間が長くなり、動画サイトの視聴やオンラインゲーム、SNS等の長時間利用が増えることで、健全な生活や友人関係に悪い影響を及ぼすおそれがあります。これを防止するため、SNS等の家庭ルールを親子で話し合って作成されることをお願いいたします。また、守れなかった時の約束を決めておくことも大切です。

夏季休業明けは、児童の不安や悩みが増大することがあります。不安や悩みを抱えたときは、保護者をはじめ信頼できる人や教職員、二四時間受付の「東京都いじめ相談ホットライン」「港区立教育センター電話相談」等の外部機関に相談することが大切です。

二学期も児童の健全育成のために、保護者や地域の皆様と連携していきます。今学期もどうぞよろしくお願いたします。

(生活指導主幹 小清水孝)

## ストレスからの開放

ピークに達してしまいました。その解消として次のような話を以前講演で聞いたことがあります。それは、「人間は脳と心の生き物」であると語った、スポーツドクターの辻 秀一氏です。主な著書に「スラムダンク勝利学」があります。脳は「思考」の中核で、心は今の「状態」です。心の状態は「不機嫌な方向」に向かうか「ご機嫌な方向」へ向かうかの2択です。不機嫌なときには、イライラしたり、落ち込んだりとストレスがかかっています。そこで多くの人が考える解決方法は、ある行動をとることで気分を変えることです。人間がこのような行動ルーティンに頼るのは、意識しない限り脳は「環境」「出来事」「他人」に関する情報を収集し、行動の内容を考え続けるからです。それに対して、いつでも実践できる「思考のルーティン」を提唱されています。ご機嫌な状態を創り出す脳のスキルを「ライフスキル」と呼び、従来の脳とは異なる「第二の脳」と言われているものです。そこで最初にすべきは、「機嫌がいいことの価値を考える」ことです。例えば、「機嫌がよければあなたはようになりますか?」と自分に問いかけてみます。ペンを用意して「アイデアが湧く。ご飯がおいしくなる。楽しくなる」など思いつくことを書きだします。この目的は「機嫌な状態であれば、いいことが次から次へと自分の所へ舞い込んでくると確信することです。これを日々の習慣にしていくとよいそうです。大部分の人は不機嫌な行動をとりがちでPDCAサイクルのように脳をフルに稼働させてしまい、過去にこだわりのコントロールできない未来を心配し、ストレスだらけの生活を送ってしまいます。こうならないためには、このように過去に囚われたり、未来を不安視したりしている自分に気付き、リセットできるトレーニングをすることです。その一つに「鈍感力」もあるかもしれません。

ご機嫌な状態を自分だけに留めず、広く実現できれば、結局自分のためにもなっています。例えば、人に接する時に積極的に「挨拶」や「ありがとう」を口にするだけで、口にしてはいる自分もご機嫌になってきます。私も、できる限りこのことを実践しているつもりです。ぜひ、皆さんも実践してみてくださいいかがですか?



## 10月の主な行事予定

- 1日 (木) 都民の日(授業日)  
内科検診(わかば、1年5・6・7組)
- 2日 (金) 発育測定(6年)
- 5日 (月) 発育測定(5年)、委員会活動
- 6日 (火) 発育測定(4年)
- 7日 (水) 発育測定(3年)
- 8日 (木) 発育測定(2年)
- 9日 (金) 発育測定(1年)
- 10日 (土) 学校公開(2・5年)  
セーフティ教室(2年)
- 12日 (月) 発育測定(わかば)
- 16日 (金) 耳鼻科健診(3・4年)
- 19日 (月) 聴力検査(3年)
- 20日 (火) 聴力検査(2年)
- 21日 (水) 聴力検査(1年)
- 22日 (木) 聴力検査(5年)
- 23日 (金) 聴力検査(わかば)
- 24日 (土) 学校公開(3・6年)  
スポーツフェスティバル(6年)
- 27日 (火) 耳鼻科健診(1・6年、わかば)
- 28日 (水) 避難訓練

## 副校長より

新しい学期を迎え、二学期の目標や挑戦したいことなどを話題にされたご家庭もあつたのではないのでしょうか。結果にこだわることは大切なことですが、テストであれ、試合であれ、その時の問題や対戦相手によっては、頑張りたければ、「仕方なかった」ということはよくあります。

「そうならないために、日頃の勉強や練習が大切だ」と言われれば、まったくその通りです。だからこそ、日頃、取り組んでいることにもっと意識を向けて、認める声かけをしていくことが大切なのではないでしょうか。

「やっても結果が出なければ意味がない」、「結果を出さなければ認めてもらえない」と子供が思ってしまうと、失敗を恐れて挑戦しなくなってしまうことです。本当の失敗とは、何も挑戦しないことです。やることをやってみて出た結

果から、また、次どうするのかを学べば良いのです。成功と失敗があるわけではなく、体験と学んだことがあるのです。子供たちにも、大人が「失敗はない。もらうために、大人が「失敗はない。体験から学べばいい」という考え方で接することが重要だと考えます。

ぜひ、ご家庭でも挑戦している姿を認め、結果にとらわれ過ぎることなく、お子様の日々の取り組みを見守り、応援していただければ幸いです。

野瀬 望教諭が八月十八日をもちまして妊娠出産休暇に入りました。産休代替として、佐藤公美教諭が二年二組の担任をいたします。

(副校長 原島 謙一 久道 泰司)

## 8・9月の行事予定

25日	火	始業式、引き渡し訓練【11:10~11:25】
26日	水	土曜時程5時間授業・清掃なし 下校時刻変更【13:50頃下校】
27日	木	内科健診(6年、5年1・2組)
28日	金	内科健診(5年3・4・5・6組、4年1・2・3組)
29日	土	
30日	日	
31日	月	内科健診(3年1・2・3・4組、4年4・5・6組)
1日	火	セーフティタイム、視力検査(4年)
2日	水	土曜時程5時間授業・清掃なし 下校時刻変更【13:50頃下校】 視力検査(1年1・2・3・4組)
3日	木	視力検査(3年)
4日	金	視力検査(2年1・2・3・4組)
5日	土	土曜授業日
6日	日	
7日	月	委員会活動、フレンドリータイム 視力検査(2年5・6・7組)
8日	火	視力検査(1年5・6・7組、わかば)
9日	水	土曜時程4時間授業・清掃なし 下校時刻変更【12:45頃下校】 眼科検診(わ・1・2・3・4年生)
10日	木	避難訓練
11日	金	夏休み自由作品展示終
12日	土	
13日	日	
14日	月	クラブ活動、視力検診(5年)
15日	火	視力検診(6年)
16日	水	土曜時程5時間授業・清掃なし 下校時刻変更【13:50頃下校】
17日	木	眼科検診(5・6年)
18日	金	耳鼻科検診(2・5年)
19日	土	土曜授業日 学校公開(1年1・2h、4年・わかば3・4h) セーフティ教室(1年)
20日	日	
21日	月	敬老の日
22日	火	秋分の日
23日	水	土曜時程5時間授業・清掃なし 下校時刻変更【13:50頃下校】
24日	木	内科検診(2年1・2・3・4組、3年5・6組)
25日	金	セーフティ教室(5・6年)
26日	土	
27日	日	
28日	月	
29日	火	内科検診(1年1・2・3・4組、2年5・6・7組) ブラインドサッカー体験(4年)
30日	水	土曜時程4時間授業・清掃なし 下校時刻変更【12:45頃下校】

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	29	229	221	219	233	214	200	1345

(8月24日現在)

# 学年紹介

## わかば学級

わかば学級は、一年生と転入生が仲間入りして二十九名となりました。

一年生は、少しずつ学校のペースに慣れてきて、学校を楽しみに笑顔で登校しています。

先日はわかば学級内の縦割り班で学校の周りを探検してきました。上級生が下級生に優しく接している姿は、わかば学級の素晴らしいところですよ。

休み時間も異学年の友達と仲良く遊ぶ姿が増えてきています。今後ともこの繋がりを大切にしながら、一人一人と向き合い、丁寧に指導してまいります。

(わかば学級担任 中山 功一)

## 一年生

一斉登校が始まり、一年生は新しくできた友達と関わりながら、やっとな学校生活に慣れてきたところですよ。

楽しみな教科ができたり、新しくできた友達と関わりながら学び合ったりと、積極的に学びに向かう姿が見られます。学習の成果が出た瞬間、一年生は輝かしい笑顔を見せており、担任として嬉しい限りです。

今後とも、ルールを守りながら、充実した学校生活を送れるように、担任一同指導してまいります。

(一年三組担任 出牛 征輝)

## 二年生

自宅学習期間が続いたことで、不安を抱えている子供たちがいるのではないかと心配しましたが、一斉登校が始まると、元気に、のびのびと学校生活を満喫していました。

生活科の学習では、自分で選んだ野菜の苗に毎日欠かさず水やりをしたり、友達と協力して当番活動をしたりする姿に成長を感じました。

今学期は、「みんななかよし」を合言葉に、グループ活動なども取り入れながら、学級が一つになれるよう取り組んでいきます。

(二年六組担任 松川 ゆり)

## 三年生

長い休校期間が明け、新しい生活様式の中での学校生活が始まりました。子供たちは毎日元気いっぱい、にっこりとしており、教職員一同うれしく思っております。

三年生から、新しく理科と社会科の学習が始まりました。調べ学習や実験など、様々な発見を積み重ねながら取り組んでいます。子供たちが、どきどきしたり、わくわくしたりする経験を重ね、ますます力を伸ばしていけるよう、指導して参ります。

二学期も引き続きよろしくお願いたします。

(三年六組担任 漆崎 綾乃)

## 四年生

休校が空けて、一生懸命学習に取り組む姿勢や、楽しそうに友達と一緒に遊ぶ姿が見られます。

四年生になり、子供たちから下級生のお手本になりたいという声がとても多く聞かれます。お手本として、自分だけでなく友達や下級生を大切にしていけるように担任一同引き続き指導してまいります。

一人一人のよさが生かされて、素敵なお兄さん・お姉さんとして成長して欲しいと思います。

(四年一組担任 竹内 麻美)

## 五年生

五年生は高学年になったという自覚をもち、学校生活を過ごしています。

七月からは委員会活動が始まりました。港南小学校のよりよい学校生活を支える一員として責任感をもって活動に取り組んでいる様子が見られます。また、進んで副委員長や書記に立候補する子どもも多く、とても頼もしく感じました。

二学期も高学年として、下級生のお手本となる姿勢や、学校生活を支えるという意識を高めていけるように、引き続き指導してまいります。

(五年四組担任 山崎 愛未)

## 六年生

最高学年としての一年がスタートしました。子供たちは、自分と向き合う力や相互理解の力が身に付いてきており、自他共に関わり合って成長しようとする姿が見られます。

そのような子供たちの思いをもとに、学年目標を設定しました。「自分や周囲の人々の考えや思いを大切にし、言葉や行動で表現できる児童『Treasure』」です。この一年、例年と異なる部分も多くありますが、一人一人がたくさんの宝物を抱えて卒業式を迎えられるように、担任一同、最後まで心を込めて指導してまいります。

(六年四組担任 岡戸 奈都子)

## わくわく教室

休校期間が空けて、わくわく教室でも子供たちが様々な学習に一生懸命取り組む姿が見られます。

わくわく教室は、本人のよさやもっている力をもっと伸ばしたり、苦手なことを克服したりすることを全力で応援する教室です。子供たち一人一人の実態に合わせて目標や学習内容を設定し、活動しています。

子供たちが自信をもって学校生活を送れるように学級担任と連携して指導します。

(わくわく教室)

## あいさつ委員会

本校は今年度も、「あいさつ」に力を入れています。その中心的な役割を担うのが「あいさつ委員会」です。この一年間でどのような活動にしたら港南小学校のあいさつが活発になるか考え、活動を企画していきます。

朝、子供たちが登校してくる際に、大階段や地域開放口で心を込めたあいさつをする活動に取り組んでいます。あいさつが返ってくると、委員会の子供たちもやりがいを感じます。

一年後の港南小学校の様子から、あいさつが活発化したことが感じ取れるように、一生懸命活動していきます。

(あいさつ委員会担当)

出牛 柊輝



# 委員会紹介

## 飼育委員会

一月に新しいウサギを迎えました。昨年度、飼育委員の子供たちが全校児童に呼び掛けて「大福」と名前が決まりました。現在、七か月の人懐っこく、人が近付くと寄ってくる姿がとてもかわいいウサギです。

飼育委員会では、大福のエサやりやケージの掃除などを毎日行うことが主な活動内容です。他にも、委員以外の子供たちも大福と触れ合えるようにイベントなどの企画などを行っています。

(飼育委員会担当)

竹内 麻美



## 落とし物委員会

全校で一三〇人を超える児童が在籍する本校では、落とし物が多いことが課題となっています。また、その中には無記名の物も多く、持ち主の元へ届かないこともあり、そんな現状を変えたいという考えから、今年度初めて「落とし物委員会」が誕生しました。

仕事内容は大きく分けて、

- ① 持ち帰り忘れた傘を各学級に届ける。
- ② 落とし物が減るように呼び掛ける。
- ③ 落とし物コーナーを管理する。
- ④ 記名のある落とし物を届ける。

です。発足したばかりですが、子供たちが主体的に活動できるよう教員も一緒に取り組み、落とし物を減らしていきたいと思っています。

(落とし物委員会担当)

小和瀬 皓惟明



## 委員長任命式

七月十六日に委員長任命式を行いました。昨今の情勢に基づきまして、今年度は全校朝会での実施ではなく、任命式の様子をビデオで撮影して子供たちに見せました。

ビデオだと、六年生の委員長の表情がはっきりと見ることができたのがよかったです。また、各委員長の決意表明を聞くことができ、彼らの取り組みにあたっての強い意志を感じました。

これから、各委員会が存在感を発揮し、学校を盛り上げていくことになると思います。これからも彼らの活躍に期待していただければと思います。

(特別活動部 高橋 佳大)



## 算数少人数より

一学期は、三年生から六年生の算数で少人数の学習を行いました。各学級に加えて、少人数のクラスを二クラス増やし、例えば三年生では、六学級を八クラスに分けて行っています。

二年生は、各教室に算数少人数の教員が回り、学習支援をしています。二学期以降は少人数で学習していく予定です。

算数でのクラス分けは、単元の内容により様々です。一つに、習熟度別では、新単元に入る前に「レディ

ネステスト」を実施し、単元の内容をどれだけ理解しているか、日々の生活や一人一人の学習課題に合わせてクラスを分けています。

少人数のクラスでは、視覚的に分かりやすい資料を用いたり、難問に挑戦させたりと、理解度に合わせて授業を工夫しています。今年度も一人一人の課題にあった算数の学習を進めていきます。

(算数少人数担当 寺嶋 古都 絵 木内 ゆり)

## わくわく教室への通級及び学習支援員の配置の申込みについて

発達について気になる子供を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通級指導を行う特別支援教室（わくわく教室）を開室しております。

また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところとあります。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは、学

習支援員の配置を希望される保護者の方は十月十日（月）までに、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に御相談ください。

※なお、来年度も継続して特別支援教室の利用や学習支援員の配置を希望される保護者の方につきましても、十月十二日（月）までに、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に連絡してください。

(特別支援コーディネーター 倉山 千春)